

出雲市全体 業種別景況（令和7年4月～令和7年6月期）

《全業種》

1. 売上・採算・資金繰り等の状況 (%)												
	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和7年1月～3月期)と比べた 今期(令和7年4月～6月期)の状況				前年同期(令和6年4月～6月期)と比べた 今期(令和7年4月～6月期)の状況				今期(令和7年4月～6月期)と比べた 来期(令和7年7月～9月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上額	36.3	36.9	26.8	9.5	30.3	35.4	34.3	△ 3.9	21.8	46.9	31.3	△ 9.5
2 採算（営業利益）	27.0	48.3	24.7	2.3	18.5	46.2	35.3	△ 16.8	16.1	55.7	28.2	△ 12.1
3 資金繰り	12.1	71.1	16.8	△ 4.6	10.5	69.0	20.5	△ 9.9	7.5	69.5	23.0	△ 15.5
4 業況	20.2	57.7	22.1	△ 1.8	16.4	56.6	27.0	△ 10.7	11.7	62.0	26.4	△ 14.7
注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化												
	今期の状況											
	過剰気味	充足	不足									
5 人手	4.0	46.3	49.7									
	実施 (採算十分)	実施 (採算不十分)	不実施									
6 価格転嫁	22.1	48.8	29.1									
	実施 (3%未満)	実施 (3%以上)	不実施									
7 賃上げ	27.3	30.8	41.9									
2. 新規設備投資 (%)												
	実施・計画した							実施・計画していない				
	土地	建物	機械設備	車輛・重機	IT機器・システム	その他						
1 今期	46.0	4.3	13.0	25.0	28.3	28.3	1.1	54.0				
2 来期	40.5	4.0	9.3	8.0	32.0	36.0	10.7	59.5				
3. 経営上の問題点 (%)												
経営上の問題点		1位	2位	3位	経営上の問題点			1位	2位	3位		
1	需要の停滞、受注・客数の減少	40.9	9.0	3.4	9	商品（製品）在庫の過剰	0.6	1.2	2.0			
2	新規参入業者や大型店との競合激化	1.2	5.4	4.8	10	支払利息の負担増	2.9	1.8	6.8			
3	受注（客）単価の低下	1.2	4.2	5.4	11	売掛金の回収難	0.6	1.2	2.0			
4	原材料等の調達難	2.3	2.4	2.7	12	事業資金の借入難	1.2	0.6	1.4			
5	原材料等価格の上昇	16.4	24.0	8.8	13	従業員の確保・定着難	17.5	8.4	12.9			
6	仕入・人件費以外の経費の上昇	6.4	13.2	10.9	14	店舗・工場や機械等設備の老朽化	2.3	10.2	16.3			
7	価格転嫁難	1.2	3.6	7.5	15	その他	0.6	0.6	2.0			
8	人件費の増加	4.7	14.4	12.9								
注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。												

《建設業》

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和7年1月～3月期)と比べた 今期(令和7年4月～6月期)の状況				前年同期(令和6年4月～6月期)と比べた 今期(令和7年4月～6月期)の状況				今期(令和7年4月～6月期)と比べた 来期(令和7年7月～9月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上額	24.0	52.0	24.0	0.0	28.0	40.0	32.0	△ 4.0	16.0	44.0	40.0	△ 24.0
2 採算(営業利益)	16.0	68.0	16.0	0.0	16.0	52.0	32.0	△ 16.0	12.0	56.0	32.0	△ 20.0
3 資金繰り	12.0	68.0	20.0	△ 8.0	12.0	64.0	24.0	△ 12.0	0.0	80.0	20.0	△ 20.0
4 業況	12.0	68.0	20.0	△ 8.0	12.5	62.5	25.0	△ 12.5	4.0	68.0	28.0	△ 24.0

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

	今期の状況		
	過剰気味	充足	不足
5 人手	8.0	24.0	68.0
	実施 (採算十分)	実施 (採算不十分)	不実施
6 価格転嫁	20.8	58.3	20.8
	実施 (3%未満)	実施 (3%以上)	不実施
7 賃上げ	36.0	44.0	20.0

(%)

	実施・計画した							実施・計画していない
	土地	建物	機械設備	車輛・重機	IT機器・システム	その他		
1 今期	63.6	9.5	14.3	9.5	23.8	42.9	0.0	36.4
2 来期	53.6	13.3	6.7	0.0	33.3	46.7	0.0	46.4

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注・客数の減少	34.8	4.3	10.5	9 商品(製品)在庫の過剰	0.0	0.0	0.0
2 新規参入業者や大型店との競合激化	0.0	0.0	0.0	10 支払利息の負担増	0.0	0.0	5.3
3 受注(客)単価の低下	0.0	0.0	0.0	11 売掛金の回収難	0.0	0.0	0.0
4 原材料等の調達難	0.0	0.0	0.0	12 事業資金の借入難	0.0	0.0	0.0
5 原材料等価格の上昇	21.7	43.5	0.0	13 従業員の確保・定着難	34.8	17.4	15.8
6 仕入・人件費以外の経費の上昇	4.3	21.7	10.5	14 店舗・工場や機械等設備の老朽化	0.0	4.3	15.8
7 価格転嫁難	0.0	0.0	10.5	15 その他	0.0	0.0	5.3
8 人件費の増加	4.3	4.3	26.3				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4. 業界内のトピック(調査対象事業所からの意見等)

- ・公共工事における価格転嫁の困難さがあった(資材値上げがくり返された為)
- ・人手不足とも言えるが、今後を考えると仕事自体が少なくなり今後の展望が見えない。又価格の下落(たたき合い)が起こるのでは?
- ・人材確保のための人件費アップの影響が大きい。
- ・建築需要がかなり後退している。今までに経験したことのない不景気感。

《 製 造 業 》

1. 売上・採算・資金繰り等の状況 (%)												
	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和7年1月～3月期)と比べた 今期(令和7年4月～6月期)の状況				前年同期(令和6年4月～6月期)と比べた 今期(令和7年4月～6月期)の状況				今期(令和7年4月～6月期)と比べた 来期(令和7年7月～9月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上額	33.3	36.1	30.6	2.8	30.6	22.2	47.2	△ 16.7	16.7	61.1	22.2	△ 5.6
2 採算(営業利益)	25.0	44.4	30.6	△ 5.6	13.9	38.9	47.2	△ 33.3	13.9	58.3	27.8	△ 13.9
3 資金繰り	8.3	63.9	27.8	△ 19.4	5.6	66.7	27.8	△ 22.2	5.6	63.9	30.6	△ 25.0
4 業況	20.0	52.0	28.0	△ 8.0	24.0	44.0	32.0	△ 8.0	8.0	64.0	28.0	△ 20.0
注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化												
	今期の状況											
	過剰気味	充足	不足									
5 人手	11.1	44.4	44.4									
	実施 (採算十分)	実施 (採算不十分)	不実施									
6 価格転嫁	22.9	65.7	11.4									
	実施 (3%未満)	実施 (3%以上)	不実施									
7 賃上げ	44.4	33.3	22.2									
2. 新規設備投資 (%)												
	実施・計画した							実施・計画していない				
	土地	建物	機械設備	車輛・重機	IT機器・システム	その他						
1 今期	61.4	0.0	7.4	40.7	25.9	22.2	3.7	38.6				
2 来期	36.1	0.0	23.1	7.7	23.1	30.8	15.4	63.9				
3. 経営上の問題点 (%)												
経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位					
1 需要の停滞、受注・客数の減少	60.0	0.0	3.8	9 商品(製品)在庫の過剰	0.0	3.0	0.0					
2 新規参入業者や大型店との競合激化	0.0	3.0	0.0	10 支払利息の負担増	5.7	3.0	15.4					
3 受注(客)単価の低下	0.0	6.1	7.7	11 売掛金の回収難	2.9	0.0	0.0					
4 原材料等の調達難	2.9	6.1	7.7	12 事業資金の借入難	0.0	3.0	3.8					
5 原材料等価格の上昇	11.4	18.2	15.4	13 従業員の確保・定着難	8.6	9.1	11.5					
6 仕入・人件費以外の経費の上昇	0.0	6.1	0.0	14 店舗・工場や機械等設備の老朽化	2.9	15.2	11.5					
7 価格転嫁難	0.0	3.0	15.4	15 その他	0.0	0.0	0.0					
8 人件費の増加	5.7	24.2	7.7									
注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数値が合わない場合があります。												
4. 業界内のトピック(調査対象事業所からの意見等)												
<ul style="list-style-type: none"> ・消費税が全て元凶である。 ・物流費の高騰が一番厳しい、なんとか効率の良い仕組みを考えたい。梅雨明けが早く、秋冬野菜に影響が出そうです。 ・自動車関係の金型は大きく減少した。 ・物価高騰、人件費高騰など価格転嫁交渉や現状把握するのに工数がかかるともかかる。今までいらなかった工数が増えている。 ・トランプ関税は直接的な影響は現在ないが、今後どうなるか分からない。 ・原材料価格の上昇により、弊社も再度値上げを検討中ですが、客離れも心配です。 ・トランプ関税は、業績に大きな影響を受けると予測。 ・全国統計では設備投資は好調のようだが、地場では外的要因(関税の問題等)により設備投資への意欲は減退しているように思われる。 また、人手についても製造業への就職希望者(工員)が年次減少しており、弊社のような中小零細企業ばかりの問題ではないように思われる。 												

《卸売業》

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和7年1月～3月期)と比べた 今期(令和7年4月～6月期)の状況				前年同期(令和6年4月～6月期)と比べた 今期(令和7年4月～6月期)の状況				今期(令和7年4月～6月期)と比べた 来期(令和7年7月～9月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上額	23.5	35.3	41.2	△ 17.6	11.8	58.8	29.4	△ 17.6	29.4	47.1	23.5	5.9
2 採算(営業利益)	12.5	56.3	31.3	△ 18.8	12.5	62.5	25.0	△ 12.5	25.0	62.5	12.5	12.5
3 資金繰り	0.0	87.5	12.5	△ 12.5	6.7	80.0	13.3	△ 6.7	6.3	93.8	0.0	6.3
4 業況	6.3	68.8	25.0	△ 18.8	0.0	66.7	33.3	△ 33.3	0.0	87.5	12.5	△ 12.5

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

	今期の状況		
	過剰気味	充足	不足
5 人手	5.9	58.8	35.3
	実施 (採算十分)	実施 (採算不十分)	不実施
6 価格転嫁	23.5	58.8	17.6
	実施 (3%未満)	実施 (3%以上)	不実施
7 賃上げ	18.8	43.8	37.5

2. 新規設備投資

(%)

	実施・計画した							実施・計画していない
	土地	建物	機械設備	車輛・重機	IT機器・システム	その他		
1 今期	35.3	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	64.7
2 来期	52.9	11.1	11.1	0.0	44.4	33.3	0.0	47.1

3. 経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注・客数の減少	41.2	0.0	0.0	9 商品(製品)在庫の過剰	0.0	0.0	6.3
2 新規参入業者や大型店との競合激化	5.9	11.8	0.0	10 支払利息の負担増	0.0	5.9	12.5
3 受注(客)単価の低下	0.0	0.0	0.0	11 売掛金の回収難	0.0	11.8	6.3
4 原材料等の調達難	0.0	0.0	0.0	12 事業資金の借入難	0.0	0.0	6.3
5 原材料等価格の上昇	11.8	11.8	6.3	13 従業員の確保・定着難	5.9	5.9	12.5
6 仕入・人件費以外の経費の上昇	23.5	11.8	12.5	14 店舗・工場や機械等設備の老朽化	0.0	11.8	25.0
7 価格転嫁難	5.9	5.9	6.3	15 その他	0.0	0.0	0.0
8 人件費の増加	5.9	23.5	6.3				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4. 業界内のトピック(調査対象事業所からの意見等)

- ・インターハイによる観光客増に期待
- ・ガソリンの高騰他が問題

《小 売 業》

1. 売上・採算・資金繰り等の状況													(%)
	I 今期の状況								II 来期の見通し				
	前期(令和7年1月～3月期)と比べた 今期(令和7年4月～6月期)の状況				前年同期(令和6年4月～6月期)と比べた 今期(令和7年4月～6月期)の状況				今期(令和7年4月～6月期)と比べた 来期(令和7年7月～9月期)の見通し				
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	
1 売上額	28.6	36.7	34.7	△ 6.1	28.6	34.7	36.7	△ 8.2	20.4	36.7	42.9	△ 22.4	
2 採算(営業利益)	27.1	39.6	33.3	△ 6.3	22.9	35.4	41.7	△ 18.8	12.5	50.0	37.5	△ 25.0	
3 資金繰り	10.4	72.9	16.7	△ 6.3	12.5	64.6	22.9	△ 10.4	4.2	72.9	22.9	△ 18.8	
4 業況	16.7	52.1	31.3	△ 14.6	14.6	52.1	33.3	△ 18.8	12.5	52.1	35.4	△ 22.9	

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

	今期の状況		
	過剰気味	充足	不足
5 人手	0.0	59.2	40.8
	実施(採算十分)	実施(採算不十分)	不実施
6 価格転嫁	19.1	46.8	34.0
	実施(3%未満)	実施(3%以上)	不実施
7 賃上げ	18.8	27.1	54.2

2. 新規設備投資									(%)
	期	実施・計画した						実施・計画していない	
		土地	建物	機械設備	車輛・重機	IT機器・システム	その他		
1 今	期	33.3	5.9	11.8	17.6	35.3	29.4	0.0	66.7
2 来	期	31.3	0.0	6.7	6.7	33.3	46.7	6.7	68.8

3. 経営上の問題点									(%)
経営上の問題点		1位	2位	3位	経営上の問題点		1位	2位	3位
1	需要の停滞、受注・客数の減少	44.7	13.0	4.9	9	商品(製品)在庫の過剰	2.1	2.2	4.9
2	新規参入業者や大型店との競合激化	0.0	4.3	7.3	10	支払利息の負担増	4.3	2.2	2.4
3	受注(客)単価の低下	2.1	15.2	4.9	11	売掛金の回収難	0.0	0.0	4.9
4	原材料等の調達難	2.1	2.2	4.9	12	事業資金の借入難	2.1	0.0	0.0
5	原材料等価格の上昇	17.0	2.2	4.9	13	従業員の確保・定着難	14.9	6.5	7.3
6	仕入・人件費以外の経費の上昇	4.3	0.0	4.9	14	店舗・工場や機械等設備の老朽化	0.0	8.7	22.0
7	価格転嫁難	0.0	6.5	7.3	15	その他	0.0	0.0	0.0
8	人件費の増加	6.4	0.0	0.0					

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4. 業界内のトピック(調査対象事業所からの意見等)
<ul style="list-style-type: none"> 個人事業主は従業員の最低賃金や有休取得など義務があるため負担のしわよせがひどい。休めず、収入もあがらず事業主に対しての補助がないように感じる。 売上は横ばいにもかかわらず、人件費は上がる。だからこれからは利益率をよくしていく必要を感じています。 仕入原価の上昇で利益確保がなかなか困難です。税金徴収に奔走している政府は中小企業の現状をもっと理解して欲しい。 商品の価格転嫁をする環境が整っている今、珈琲豆の価格の値直しを今期実施しようと思っています。 国会では、消費税減税や廃止など議論されていることは歓迎しますが、もし、現実になれば小売業の立場からは予定にないシステム改修などの経費が必要となります。インボイス制度や新札導入で末端である小売業にしわ寄せ(無駄な経費支出)がきています。国が制度を変更するのであれば必要な経費を助成するのがあたりまえではないでしょうか？ 現在のところ影響は少ないが、運賃、ガソリン代、経費の上昇 人口減少、特に高校生以下の減少が経営に影響しています。小売以外の売上を増やしていく施策を考えていく必要を感じています。物価高騰による仕入れ金額の上昇が、経営に影響が出てきてます。地方の中小企業支援があれば有難いです。

《サービス業》

1. 売上・採算・資金繰り等の状況 (％)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和7年1月～3月期)と比べた 今期(令和7年4月～6月期)の状況				前年同期(令和6年4月～6月期)と比べた 今期(令和7年4月～6月期)の状況				今期(令和7年4月～6月期)と比べた 来期(令和7年7月～9月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上額	55.8	30.8	13.5	42.3	39.2	35.3	25.5	13.7	26.9	48.1	25.0	1.9
2 採算(営業利益)	38.8	46.9	14.3	24.5	20.8	54.2	25.0	△ 4.2	20.4	57.1	22.4	△ 2.0
3 資金繰り	20.8	70.8	8.3	12.5	12.8	74.5	12.8	0.0	16.3	57.1	26.5	△ 10.2
4 業況	32.7	57.1	10.2	22.4	21.3	61.7	17.0	4.3	20.4	59.2	20.4	0.0

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

	今期の状況		
	過剰気味	充足	不足
5 人手	0.0	41.7	58.3
6 価格転嫁	24.5 実施 (採算十分)	30.6 実施 (採算不十分)	44.9 不実施
7 賃上げ	21.3 実施 (3%未満)	21.3 実施 (3%以上)	57.4 不実施

2. 新規設備投資 (％)

	実施・計画 した	実施・計画 していない						
		土地	建物	機械設備	車輛・重機	IT機器・システム	その他	
1 今期	38.2	4.8	23.8	33.3	28.6	9.5	0.0	61.8
2 来期	41.1	0.0	4.3	17.4	30.4	26.1	21.7	58.9

3. 経営上の問題点 (％)

経営上の問題点	1位			2位			3位		
	1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注・客数の減少	26.5	16.7	0.0	9 商品(製品)在庫の過剰	0.0	0.0	0.0		
2 新規参入業者や大型店との競合激化	2.0	2.1	6.7	10 支払利息の負担増	2.0	0.0	4.4		
3 受注(客)単価の低下	2.0	6.3	6.7	11 売掛金の回収難	0.0	0.0	0.0		
4 原材料等調達の難	4.1	0.0	2.2	12 事業資金の借入難	2.0	0.0	0.0		
5 原材料等価格の上昇	18.4	31.3	13.3	13 従業員の確保・定着難	22.4	6.3	17.8		
6 仕入・人件費以外の経費の上昇	8.2	12.5	15.6	14 店舗・工場や機械等設備の老朽化	6.1	10.4	11.1		
7 価格転嫁難	2.0	4.2	4.4	15 その他	2.0	2.1	4.4		
8 人件費の増加	2.0	8.3	13.3						

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数値が合わない場合があります

4. 業界内のトピック(調査対象事業所からの意見等)

- ・ 仕事であまり展望できないなら株で・・・と思いきやトランプ関税などうまくいかない。
- ・ どの飲食店も今、とても厳しいと思いますが、賃上げしろと、政府がプレッシャーをかけることが、腹立たしいです。景気を良くしてから言うならわかるが、上がりきる前に言わないでほしい。もっと景気を刺激するようなことをして下さい。
- ・ 法改正により事務処理等の負担増。
- ・ キャッシュレスをすすめたことによる手数料分の値上げが意外と高い
- ・ 値上げ予定